



●今月のテーマ●
冬の食中毒予防!

食中毒が夏より冬に多いことを皆さんご存じでしょうか?

特にノロウイルス食中毒は感染力が非常に強く、11月～3月に流行し、12月・1月にピークを迎えます。

そこで今月のテーマは「冬の食中毒予防」です。



ノロウイルス食中毒 脱水症状に注意!!

症状 嘔吐、腹痛、おうと水のような下痢、発熱

※子どもは症状が重くなる場合があります

鼻歌♪手洗い

アドバイス1
予防

楽しく手洗いをしましょう。ハッピーバースデートゥーユーを2回歌うとちょうど良い手洗い時間(約30秒)になります。



アドバイス2
予防

あつ〜いお湯

食品によく火を通すだけでなく、使用する食器に熱湯をゆっくりにかけて消毒をしましょう。



アドバイス3
予防

塩素系

子どもがよく触る場所は、※塩素系漂白剤を薄めた消毒液でふきましょう。



※キャップ1杯(20割)の漂白剤を5%の水で薄めるのが目安。

新たな試み

今年の冬から、食中毒の増加が予測されると「ノロウイルス食中毒注意報」が発令されます! 札幌市保健所ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/hokenjo/>) などでお知らせします。

まちづくり情報館

地域の活動は、市民自治の出発点。厚別区で行われているまちづくり活動や団体などを紹介します。

厚別区老人クラブ連合会

～連帯の輪を広げよう!

厚別区老人クラブ連合会は、区内の39老人クラブ(会員数:約3,000人)によって構成されています。単に会員間だけの活動にとどまらず、「地域に根ざした組織」「地域活動の中核」として世代を超え、心豊かな社会の実現を目指しています。

毎年、厚別区民まつりに協賛して行う「ノミの市」、趣味や創作活動を公開する「文化作品展示会」、日ごろのサークル活動で鍛錬してきた芸を披露する「交歓演芸大会」などの活動を広く区民に向けて行っているほか、健康増進、ボランティア、



▲「交歓演芸大会」の様子



▲「ノミの市」の様子



▲「文化作品展示会」の様子

レク活動など会員相互の交流も活発です。

また、会の広報誌『百年塔』を一般家庭に配布し、活動のPRと加入の呼び掛けを行っています。

会長の柴田虎雄さん(82歳)は、「高齢化社会を迎え、住み慣れた地域で安心して暮らすために大切なことは、人と人とのつながりや心のふれあいであり、支え合える仲間づくりだと思います」と話します。今年は新しい試みとして、市内の福祉専門学校の実習生を行事の運営ボランティアとして積極的に受け入れました。

元気なシルバーパワーは、地域の重要な支え手であり、地域の課題解決のためにも人と人とのつながりが不可欠です。熱心に行われる多くの活動から、あらゆる世代との交流が生まれ、連帯の輪が地域に広がっています。

皆さんも一緒に活動してみませんか。